

# 一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

令和元年 5 月 31 日  
東村山市議会議長 あて

議席番号 2 番  
質 問 者 かみまち 弓子

記

## 1. 子どもの登下校の安全対策強化を

5 月 28 日の朝 7 時 45 分ごろ、神奈川県川崎市の小田急線登戸駅前スクールバスを待っていた小学生ら 19 人が包丁を持った男に襲われ、2 名の尊い命が奪われた。お亡くなりになった方々に心からご冥福をお祈りすると共に被害に遭われた方々にお悔やみ申し上げます。

私も、中学 3 年・1 年、小学 5 年生の子どもがいる親として本当に心が痛みます。小学校の防犯パトロールや見守りに入らる中で気づいたことや周りの保護者の皆さんからいただいたご意見を、先の市議会議員一期目の 4 年間、一般質問等で取り上げてきた。また、30 年 12 月 20 日に 30 陳情第 8 号「東村山市の小学校低学年児童の登下校の安全対策についての陳情」が全会一致で採択されている。さらなる子どもの登下校の安全対策強化を求めて以下、伺う。

(1) 登下校防犯プランに基づき 5 校で実施された緊急合同点検の内容と結果を改めて伺う。また、登下校の安全に関して PTA や学校からどのような要望・意見が毎年出されているか伺う。

(2) 緊急合同点検の実施結果を踏まえ連携の強化はどのように進んでいるのか。進捗状況を伺う。また、毎年出されている登下校の安全に関して PTA や学校からの要望・意見は解決されているのか伺う。

(3) 「子ども 110 番の家」等の実施主体及び実施状況を把握し、学校、PTA、児童・生徒とどのように情報を共有しているか伺う。また「子ども 110 番の家」等のお宅に集団下校時にご挨拶に行くなど日頃からコミュニケーションを図っているか伺う。

## 2. ゲーム依存対策、スクールセクハラ再発防止について

世界保健機関(WHO)は本年 5 月 25 日の総会で、ゲームのやり過ぎによって日常生活に支障を来す「ゲーム障害」を、“依存症”として正式に認定した。

また、スクール・セクシュアル・ハラスメント再発防止について相談しやすい環境や信頼できる環境、秘密を守れる環境、そして信頼して声をあげていくことのできる環境が必要であると考えます。そのために教職員や PTA 役員など保護者へのスクール・セクシュアル・ハラスメント防止研修が重要であり、児童・生徒に対しても授業の中で CAP(子どもも暴力に嫌だと声をあげられる)などの学習をすることが防止の観点から必要である。

ゲーム依存対策、スクールセクハラ再発防止について以下、伺う。

(1) 文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査における 1 日 4 時間以上ゲームを使用している子どもたちの調査結果について推移を伺うと共にどのように分析しているか伺う。

(2)調査結果を踏まえてどのようにSNSを含めたゲーム依存対策について使用のルールを徹底してきたか。その成果は翌年度の調査結果に現れているか。また、課題と考える点は何か伺う。

(3)スクールセクハラ再発防止については、児童・生徒に対しても授業の中でCAP(子どもも暴力に嫌だと声をあげられる)などの学習をすることが防止の観点から必要である。各学校に専門家を呼んで研修が必要であると平成29年9月議会で要望した。CAP学習・専門家によるスクールセクハラ防止研修の進捗状況を伺う。また、新教育長は市内の中学校で起きたスクール・セクシュアル・ハラスメントに関して、どのようにとらえてスクールセクハラ再発防止対策を講じていくのか伺う。

### 3. 公立小・中学校体育館へ早期のエアコン設置を

平成31年度一般会計予算について改選前の立憲民主党会派では、中学校屋内運動場空調設備調査委託事業を評価する点のひとつとして、賛成討論を行った。

30 陳情第20号「市立小・中学校の体育館にエアコン設置を要請する陳情書」については、自由民主党市議団会派を除く全会派が賛成して採択されている。

平成30年9月議会の一般質問で、「災害時の避難所である体育館に関してもエアコンが必要だ」との質問をした。また、平成29年度一般会計決算でも「東京都の補助金の動向を踏まえ、災害時の避難所でもある公立小・中学校の体育館のエアコン設置に向け取り組むこと。」と討論している。平成30年12月議会の一般質問でも「公立小・中学校体育館へ早期のエアコン設置を」との質問をした。

2019年の5月後半は猛暑日が続き先日の中学校の運動会でも熱中症が危惧された。2018年の夏は災害レベルの暑さであった。児童・生徒が安全に安心して体育館で授業やクラブ活動を行うことができる教育環境の改善並びに避難所機能充実を図るため、早期のエアコン設置が必要だと考え以下、伺う。

(1)「中学校屋内運動場空調設備調査委託事業」について、委託業者、調査期間、調査内容、設置の有無について何時までにどのように判断するのか。また、生徒・保護者・学校関係者の意見聴取はどのように行うのか伺う。

(2)板橋区では、「今後の方針を決めていくための参考となるよう各校6台程度のスポット冷暖房機を中学校の屋内運動場管理用通路に設置して、その効果を検証する。導入後に効果検証を行うという目的から、今夏の稼働が可能であることを前提とし、屋内運動場への冷暖房設備導入に対する東京都の補助金もリース導入に対する補助率の方が高いためリース方式を採用」されている。当市の「中学校屋内運動場空調設備調査委託事業」でも、机上の検討だけではなく中学校の屋内運動場内に実際に機器を設置して効果検証を行うべきと考える。見解を伺う。

(3)中野区では、「原則として、2020年の夏季までに全小中学校の体育館へ冷暖房設備を設置する。中野区立小中学校施設整備計画において、2027年度以降も使用する学校については、全体空調式の冷暖房設備の設置と冷暖房効率を高めるための内外塗装工事を行う。」とのことである。

①「東村山市立小中学校施設整備計画」について伺う。

②教育環境の改善並びに避難所機能充実を図るため「小学校屋内運動場空調設備調査」についても早急に行うべきと考える。見解を伺う。